



SD-117-010

* 2023 年 9 月改訂（第 6 版）
2016 年 12 月改訂（第 5 版）（新記載要領に基づく変更）

届出番号 27B1X00052000005

機械器具 32 医療用吸引器

一般医療機器

吸引器用キャニスタ

34858000

バード シリコン エバキュエーター

再使用禁止

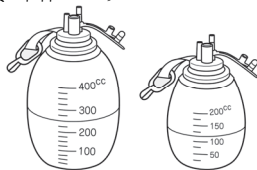
【禁忌・禁止】

1. 使用方法
(1) 再使用禁止
(2) 再滅菌禁止

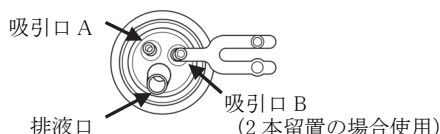
【形状・構造及び原理等】

本品は、創部排液用の低圧持続吸引容器である。本体を握り締めた後、元に戻ろうとすると生じる陰圧により排液を容器内に吸引する。吸引口内部には逆流防止弁が付いている。

＜材質＞本体：シリコーンゴム



＜上面＞



カタログ番号	容量
0071200	200cc
0070400	400cc

【使用目的又は効果】

本品は、頭頸部、腹部、心臓胸部部、耳鼻咽喉科、産婦人科、形成外科、及び脳外科の手術後の閉鎖ドレナージ用として各種ドレナージ・カテーテルと接続し、血液、滲出液等の排出を行う吸引容器である。

【使用方法等】

1. 使用方法

本品は滅菌済みであり、再使用禁止である。

(1) ドレナージ・カテーテルの留置と本品への接続

- 1) 滲出液の貯留が多い部位に、ドレナージ・カテーテルの側孔部あるいは溝部を留置する。
- 2) ドレナージ・カテーテルの無孔部分を皮膚に通し、チューブ部の留置目盛りが皮膚表面に位置するように留置する。
- 3) ドレナージ・カテーテルの無孔部分を本品の吸引口 A に取り付ける。
- 4) 1 個の本品に 2 本のドレナージ・カテーテルを使用する場合、もう一つの吸引口 B の先端をカットし、2 本目のドレナージ・カテーテルを吸引口 B に取り付ける。（図 1）

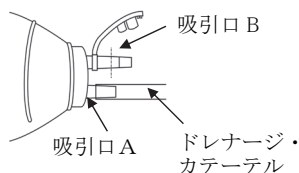


図 1

(2) 吸引の開始

- 1) 排水口を開ける。
- 2) 本体を握り締め、排水口を閉めて容器内を陰圧にする。（図 2）
- 3) 吸引を開始する。

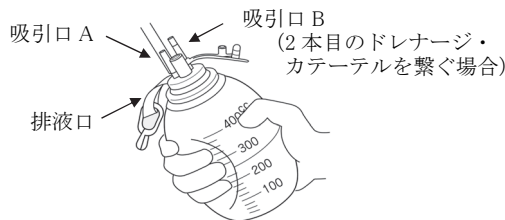


図 2

(3) 排液測定

- 1) 排水口を上にする。
- 2) 排水口を開けて陰圧を解除する。
- 3) 本品の目盛りに従って液量を測定し記録する。

(4) 排液操作

- 1) 廃液回収用容器の上で排水口を下にする。
- 2) 本体を握って排液する。

(5) 吸引を再作動させる場合

上記の「(2) 吸引の開始」の手順を繰り返す。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- (1) 排液が本品に流入しているか確認すること。[排液が確認されない場合は、不十分な創部吸引により血腫の形成、治癒の遅延、及び感染等を引き起こすおそれがある。]
- (2) 付属のストラップを使用して本体を患者の衣服等に固定すること。

【使用上の注意】

1. 不具合・有害事象

(1) 重大な不具合

- ・ 本品の破損
- ・ 吸引不良
- ・ エアリーク
- ・ 詰まり

(2) 重大な有害事象

- ・ 血腫
- ・ 治癒遅延
- ・ 感染

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

高温多湿及び直射日光を避け、乾燥した涼しい場所で保管すること。

2. 有効期間

使用期限は直接の包装及び外箱に記載

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 株式会社メディコン
連絡先 : 0120-036-541 (カスタマーサービス)

外国製造業者 : C. R. バード社
C. R. Bard, Inc.
国名 : アメリカ合衆国

Bard、バードは、C. R. バード社の登録商標です。
本書の著作権は C. R. バード社が保有しています。